



飯能河原遊歩道 The promenade along the Hannoriver ※この写真は車乗入れ禁止前のものです。

© photo by Isao Yoshida

飯能ロータリークラブ会報

“ 奉仕を通じて平和を ”

RI会長
田中 作次
2570地区ガバナー
鈴木 秀憲

重点課題は奉仕の追求

第 2543 例会 2013.5.15

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000
事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

天候 晴 (NO. 49-46)

会長 安藤泰雄 幹事 島田秀和

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 中里(昌)君、中里(忠)君

- ・点鐘 安藤会長
- ・ソング 我等のなりわい
- ・卓話 木村憲司様

【会長報告】

昨日、日高RC 30周年記念式典にご参加有難うございました。立派な式典で、親クラブとしても嬉しい事だと思えました。

5/8所沢で会長幹事会。IMは予算内で41000円程の返還。5/12東松山RC 50周年式典は山川副会長、山岸次年度幹事が出席。

6/27(木)飯能RCが中心となり、小久保勝弘会員叙勲のお祝いの会をヘリテイジで行う予定となりました。詳細については後程。

親睦旅行、よろしくお願ひ致します。

◎小川SAA：ガトーショコラ(チョコレートケーキ)は講師の木村様より差し入れ。

【幹事報告】

- ・吉田(行)委員長の大変なご努力で新入会員選考通知を出させて頂きました。異議のある方は5/22までに文書をお願いします。

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 服部君

6/12夜間例会の出欠をお願いします。例会後、京都旅行説明会。天気を願って頂きたい。

◎雑誌委員会 土屋(崇)君

『友』5月号。横組P1、平和そのものは幸福感、心の平穩、静けさ。RCは保健、衛生、食糧、教育等の基本的ニーズに対して奉仕、結果として

平和な世界を築く。関連記事もお読み下さい。P10「ポストポリオ」筋力の衰え、萎縮等で歩行障害、全身疲労感が続く。現在1~2千万人が後遺症に苦しむ。免疫機構が影響との報告も。縦組P2、石澤良昭氏(前上智大学学長)は第1回ユネスコ調査団としてアンコールワットの破壊状況を調査、修復の陣頭指揮を執る。国宝級の発見も。国際協力は上から目線ではなく現地の人材を育成しながらの“人間協力”。P7、志木の河童を彫る。P15、新所沢RCのバナー掲載。

【出席報告】無断欠席なし 中里(忠)出席委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
54名	6名	52名	96.30%	定款による例会取消で 休会のため修正なし

【M U】

- 5/7 (日高) 和泉君
- 5/8 (第3G) 安藤君
- 5/12 (東松山) 山川君、山岸君
- 5/14 (日高) 全会員登録

【結婚・誕生日祝】

大崎親睦活動委員

◎人会記念日おめでとう

吉田(健)君、吉田(武)君

◎結婚記念日おめでとう

土屋(良)君、大崎君

◎会員誕生日おめでとう

18 服部君、吉田(行)君、25 齋藤君、山岸君

◎夫人誕生日おめでとう

8 藤原夫人、18 土屋(崇)夫人、29 吉田(行)夫人

【S A A 報告】

◎ニコニコBOX

- ・木村様、本日はよろしくお願ひ致します。
細田(伴)君、細田(吉)君、新井君、矢島(巖)君
田辺君、間邊君、和泉君、土屋(良)君、安藤君
吉田(武)君、山川君、島田君、小川君
- ・昨日は日高30周年、皆様のご協力有難うござ
いました。 安藤君、吉田(武)君、山川君
島田君、小川君
- ・結婚記念日 土屋(良)君、大崎君
- ・入会記念日 吉田(健)君
- ・誕生日 服部君、山岸君、吉田(行)君
- ・夫人誕生日、お花有難うございました。
土屋(崇)君、藤原君

本日計 40,000 円、累計額 1,114,621 円。

◎22日例会当番は中山、大木会員です。

【卓 話】

講師紹介 高橋プログラム委員長
フランス料理をいつもおいしく頂いている
のですが、木村様は実は大変な国際派。チョコ
レートを食べってしまった方は味いを喉まで
戻して料理の話に酔って頂きたいと思ひます。

料理を通じた国際化

ヨーロッパレストラン駿河屋 代表 木村憲司様

食文化の歴史はグローバリゼーションの歴
史そのもの。食を通してグローバルという言葉
の意味も多少理解出来るのではと思ひます。

S51年に大学を卒業、親戚に金融関係が多
かったため考えもなく埼玉銀行(当時)に入行。
半年位して「これは違うな」と思ひ、辞めてまた
サラリーマンというのではなく自分で何かし
ようと思ひました。ヨーロッパが好きだった
のでそこで生活したいという気持ちが強くなり、
帰ってから始めるとしたら子どもの頃から好
きだった料理、どうせならフレンチが良いなど。
周りは大反対で援助は得られないだろうから
必死にお金を貯めて4年で銀行を辞めました。
当時、いろんな罵詈雑言がありました、しば
らくして銀行の状況が変わると掌を返したよ
うに「先見の明があった」と言われました。

1年間、都内のホテルで修業。しっかりと
自分のものになるものを何か1つ身につけよ
うと、オムレツを一生懸命作っていました。
スイスのホテルに行った時、最初は言葉も解
からず「コイツ本当に仕事出来るのか」と
いう目もありましたが、ある時、ひどい出来
のオムレツを出そうとしているのを見て「一
寸待て。これはオムレツではない。俺のを見て
ろ」とハッターを効かせてオムレツを作って
見せたのです。それが見事に成功して以後は
見る目が変わりました。それからは信頼を得
て無事2年間仕事をして、帰国後、都内のレス
トラン等で勉強した後、33才で独立しました。
テナントだと自分のペースで仕事が出来ない
ので借金をして現在の場所に建物を建てまし
た。お客様に探して頂いて来て頂けるような



店にすれば良いのかなど。最初の頃、フルコースに3時間かかり、途中でお客様が寝てしまった事もありました。その時、トップがしっかりしないとダメだなとしみじみ感じました。お客様、スタッフに助けられ何とか軌道に乗り、バブル期には銀行等から「2、3号店を」と言われましたが、「食」は「いのちを預かる大事な仕事」ですから多店舗展開してしまうと目が届かなくなり「食」に対する責任が持てなくなる、むしろ「自分」に投資しようと思ひました。料理教室の先生もやってみたかったり、ケータリングの需要も増すだろうと思ひたので「出来ますか」と聞かれたら「ハイ出来ます」と即答出来る状況を早く作っておきたかった。そして勉強して、辻クッキングスクール池袋校、新宿校、埼玉県調理師学校の講師にという声がかかりました。自分がしたいと思ひた事を強く希望してどんどんアピールして行くと気持ちが強ければ強い程周りが必ず動いてくれる。それにまたしっかり応えて行けば、相乗効果が生まれるのではと思ひました。

予約された方のメニューや好き嫌い等は記録して大学ノート60数冊になっています。「～記念日」等おっしやらずに予約されても、あらかじめ分かっている場合には卓上にメッセージやお花をサービスしたりします。我々のような小さい所が生き残っていくには、きめの細かいマンツーマンのサービスが一番必要なのではと思ひております。マスコミは、ランチの安さ、量の多さを宣伝しますが、私は、ちゃんとしたものをきちんとお出ししてそれなりの対価を頂くという事が良いのではないかと思ひ、今は「夜」にシフトして、結果的に良い状況になっています。流されず、ポリシーをしっかり持っていたい。お蔭様で27年目です。

コーヒーは元々眠気覚ましでした。アラビアのヤギ飼いかルディが、興奮して眠らないヤギの事を修道士に相談、ヤギは灌木の実を食べていた。夜の説教の時、その実のゆで汁を皆に飲ませると聴衆は最後まで寝ないで聴いてくれた。公衆浴場で裸の付き合いをするのが社交だったイスラム社会では、コーヒーハウスでの社交も盛んになり、イスタンブールには店が100以上出来た。オランダやイギリス商人が豆を売買するようになり、プランテーションで作るまでになった。コーヒーハウスはロンドン等では男達の集会所になり、エドワード・ロイドからロイズが興っている。過度の飲用による“不都合”を公共の思慮に訴える嘆願が婦人達から出されるようになるとコーヒーは廃れていく。その頃、トーマス・トワイニングがティーハウスを造り女性達の間で盛んになる。フランスではカフェオレが発明され、コーヒー文化として残っています。

※次週の例会案内は省略。